

# 学校保健委員会の報告

2月25日(火)、本校におきまして、本校校医・PTA役員・教職員が参加し、生徒の健康安全に関すること・給食に関する事等について話し合いを行いました。会議の中で話し合われた内容と学校医からご指導のあった内容について、下記の通りご報告いたします。(両面ともご覧ください。)

記

## 1. 学校長より 校長 富張雄彦

子供たちの1年間の健康・食についてのデータをもとにし校医の先生方のご指導をいただきながら考えていく会になるといいなと思います。今後とも、校医の先生方・保護者の皆様からご意見・ご指導をいただきながら成長を見守っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

## 2. 学校より

### (1) 学校給食報告 栄養士 飯田理沙

#### ① 食物アレルギーについて

- 北区の方針により平成26年度から、食物アレルギー対応食・宗教上の配慮食などについて、給食での対応は「**除去のみ**」となり、**代替食はなくなります**。
- 除去食対応となる生徒の保護者様には、給食室での対応が記載してあるアレルギー対応献立を毎月配布し、チェックをしていただいています。

#### ② 食育について

- 今年度は給食で、「地産地消」を積極的に取り入れています。献立表に「地産地消の食材」の欄を設ける・滝野川ごぼうなどの食材を見せて回るといった取り組みをしました。
- 給食だよりには、各月の給食目標に沿った「食に関する情報」を載せています。冷蔵庫の横に貼るなどしてご家庭でも活用してください。
- 毎日、クラスに1枚、「給食一口メモ」という、給食の配膳図・食の豆知識・アンケートを載せたプリントを配布しています。これは、給食という最も身近なものを教材として、食への関心を高めることを目的としています。アンケートの自由コメント欄に生徒が書いてくれたコメントについては給食だよりで紹介しています。ご覧ください。
- ランチールームを使用したクラスには、その機会を有効に使い、5分程度の食育を行っています。子供たちが、**食について理解を深め、実生活へ生かしていける心を育てていきたい**と考えています。

### (2) 学校保健報告 養護教諭 丸山かよ

- 身体計測結果で、身長・体重・座高とも全国平均くらいですが、1年生の体重が男女とも全国平均より大きめでした。
- 疾病の受診結果では、視力に関しては、男子38%・女子43%が受診済みです。う歯の治療率は昨年度に比べて上がりましたが、歯周疾患の治療率は上がりません。**『生徒自身が受診の大切さについて意識を高くしないと、保護者の方の理解だけでは、なかなか受診につながらないのでは』**、という意見をPTA役員さんからいただきました。生徒への保健指導(健康診断結果の受診の勧め)を来年度も引き続き行います。
- 『通院が必要な大きなケガ』は、2月中旬現在、55件になります。種類では「捻挫」のけがが「部活動中」に多く発生していました。「手指・足関節」のけがが多くなっています。
- 保健室来室状況は、女子の来室が多い傾向が見られました。傷病別では打撲・擦り傷・腹痛・頭痛が多くなっています。月別では6月・10月が多く、曜日別では火曜日・木曜日が多くなっていました。また9割以上の生徒が1回以上は保健室を利用したという結果でした。

### 3. 学校医・学校薬剤師の先生方からのお話

#### (1) 学校内科校医 小泉大樹先生より

- 食事を大切にする、という栄養士さんからの具体的な報告は素晴らしいと思いました。  
**これからも食事の大切さを繰り返し伝えていってもらえればいいと思います。**
- 身体計測の報告の中で、身長・体重とも全国平均を上回っていることは喜ばしいことです。
- 日頃から顔色が悪いとか、息苦しい生徒は、心臓検診の観点からも養護教諭や医師に話をし、早めの確認が必要です。尿に関しても異常を感じる時は早めの受診を勧めます。
- 中学生も骨端線が閉じるまでは特に気をつけて、激しい痛みが一週間以上にわたりなかなか改善しないときは、すぐに受診して正しい判断を受けてください。

#### (2) 学校歯科校医 坪井 温先生より

- 「むし歯がないのに、歯垢や歯石・歯肉炎があるので、良い歯の生徒に選ばれなくて残念だ。」という人がいます。むし歯の人数は少なくなりましたが、歯周疾患を気をつけて見て行かなくてははいけません。**永久歯が生えそろう中学生の頃は、日頃の手入れが肝心です。**
- 「むし歯や歯周病にしない」という強い意識を持って努力することが大切です。  
日頃の歯みがき・食習慣をくれぐれもおろそかにしないようにしてください。  
また、保護者の方も「歯を大切にしなさいね」と言うことを、話して行ってください。

#### (3) 学校眼科校医 杉田由紀子先生より

- 今年度の眼科検診も6月中旬だったためアレルギー性疾患数はそれほど多い人数ではなかったです。その他の病気としては、ものもらいやまぶたの湿疹がありました。
- 視力測定結果について
  - ・学年が上がるに従って近視の人が増えています。受験勉強なども関係があると思います。
  - ・携帯電話、スマートフォンなどが視力低下のきっかけになっているかもしれません。
  - ・**視覚(目)からはいる情報は多いです。視力がちゃんと見えることが全ての基本です。**  
「見えない」状態で生活していくことは危険もあります。ちゃんと見える生活をするのが大事です。
  - ・0.7可以下の人に受診勧告をしています。受診率が悪いかなと思います。女の子の中には眼鏡をいやがる人もいますので、保護者の方の声かけも必要になってきます。
- コンタクトレンズを使う方が増えています。特に1 Dayタイプは危険が少ないので低学年でも使用が可能な場合があります。コンタクトレンズは比較的安全に使えるようになってきました。

#### (4) 学校薬剤師 昼川美晴先生より

- 給食室大腸菌検査(絶対に出てはいけないもの)では、全て陰性でした。  
食器洗浄度検査は、献立によって検査結果にも違いがあります。給食室内では、食器は60度のお湯で洗うなど、工夫をしながら作業してもらおうようお願いしました。
- プールは、快適な状態に保たれていました。
- 教室の照度検査については、規定内であり問題ありません。
- 教室の空気も問題ありません。二酸化炭素量を増やさないためには、換気扇を入れたり、休み時間に窓を開けたりしておくことが大切です。
- その他、騒音検査・黒板の管理・ダニ検査を行いました。良好な状態に保たれていました。

### 4. 協議

OPTA役員の方から、何点かの質問と意見をいただきました。ありがとうございました。

#### \*お知らせとお願い

今年度の学校保健委員会の会議録を見ていただき、ご意見や学校医へのご質問等がありましたら、丸山養護教諭か飯田栄養士までお寄せください。

今後とも、本校生徒の心と体の健康の保持増進、また学校給食や安全管理に関しまして、保護者の皆様のご協力をいただきますようお願いいたします。